

県広報

1991
No.266

3

とやま



県庁探訪/農林管理課
ふるさとみてある記/上市町

特集/新富山県民総合計画

県民会館美術館に展示された
世界最大の花「ラフレシア」
(花と緑の冬のフェスティバルより)

環日本海交流に想う

富山大学経済学部教授 武井 勲

人間同士の交流こそ社交の醍醐味。かつて外交官の友人から、外務省の儀典マニユアルに、「一友、二酒、三肴（さかな）」とあることを教わった。昨今、「環日本海交流」なることがきかれるようになり、富山県の人々も、官民あげて関心が高いことは、よろこばしい。

日本海は、ソ連、北朝鮮、そして日本が取り巻く形になっている。一衣帯水の距離なのに、長い間「近くて遠い国」のまま推移した悲しい事実がある。しかし、私共日本人が心と目と耳を今、開くならば、パスポートが文字通り全世界とつながり、真の国際交流が可能になる絶好の機会である。

昨年の暮近く、バイカル湖のほとりにあるイルクーツク国民経済大学のドブロービン講師から、当大学の日本海経済研究所において、「最近のソ連事情」を拝聴した。同氏の熱心で真摯な職見に、いくばかの経済技術、教育面での協力をと勇み立つ気持ちになった人は、私一人ではないと思う。イルクーツクには、ハバロフスクから、汽車で3日、飛行機で4時間という。民謡と文学を通して知らなかったロシアを、急に近く感じ始めた。人との出会いの縁を思うことしきりである。

金丸信代議士の北朝鮮訪問は、大局的には希望の光を与えるものであった。昨年9月、たまたま石井一代議士と懇談する機会に恵まれ、目開かれる想いであった。東西陣営の前哨基地にもぬくもりの春陽の近きをね

がうこと切である。今から17年程前、アメリカきつての外交通のジョン・ケナン博士から、「日本は世界の火薬庫ともいふべき北朝鮮に程近いの……」と認識の不明を叱正頂いたことが鮮明に思い出される。ここに平和と交流がよみがえることは、21世紀をより希望あるものにするにすぎない。

先日、韓国で教授をしている友人からの電話が入った。アメリカで知りあって18年程の畏友である。相互に訪問しあう約束をかわした。

アメリカに初渡航してから約30年経った今、幸せなことに、世界の各地に友人がふえた。外国人の友人との交流は、邦人と比べ数が少ないせいか、かえって長続きをし、心のふれあいも深いようである。

富山県も環日本海交流を、経済、技術、教育、文化、政治、行政等々、多面的に深めていくことを率先して、積極的に行ってほしい。民間交流の活発性により、友人がふえることほど国際平和と人類への現解と信頼を深めるものはないと考えるからである。

環太平洋構想は故永野重雄氏（元日本商工会議所会頭）らの努力で内実のあるものになってきた。環日本海交流のクレジット（評価）は、越中文化人の手中におさめてみるのも一興と想う。

ひと

アズ
とやま



星降る夜にロマンを求めて

富山の星先案内人 青木昌勝さん



「写真で過去が撮れるのは天体写真ぐらいじゃないですか。私の好きなアンドロメダは、二、三〇万光年前の姿を見ているわけで、何か不思議な気がする」とも、気が遠くなります。果てしなく続く宇宙の営みを考えると好奇心が抑えられませんが、青木さんは幼い頃から星の大好きな天文少年でしたが、十年前に従兄の撮った星雲の写真を見た時に、自分でも撮ってみたいと思ったのが本格的に星の研究に取り組みきっかけとなったことです。

「ふるさと創生事業等で、このころ天文台を設置する市町村が増えています。セツカクリつばなもを作っても説明する職員がいなくて、宝のもちぐされになっているケースもみられます。そんなことにならないように、誰にでもよく分かり、利用しやすいシステムソフトを今、開発中です。このシステムが完成すると、星の名前を打ち込むだけで自動的にその位置を探したり、また、星の名前が分からない場合でも、ボタンを押すだけで有名な星を順次探すことが可能になるとのことです。でき上がりがとても楽しみです。

将来の夢は自ら新星や彗星を発見すること。青木さん。星を語る青木さんの表情はいきいきとしてキラキラ輝いていました。



「誰でも土星に輪があることは知っているとします。でも実際に見たことのある人は少ないのではないのでしょうか。この天体望遠鏡でできるだけ多くの人のたくさんの星を見てもいい、感動してもらえれば嬉しいです。ね。昨年の十一月、富山市月岡町の自社店舗屋上に、北陸最大の反射望遠鏡をもつ私設天文台を完成させた青木昌勝さん。週一回程度、晴れた日には自ら星先案内人として、訪れる人を星降る世界へと誘います。

新富山県民総合計画

県では、県民のみなさんの声を集大成して、21世紀への県づくりの方向と具体的な方策を示すシナリオとして「新富山県民総合計画」を作成しました。主役はもちろん県民のみなさん一人ひとりです。力を合わせ、21世紀へ新しい一歩を踏み出しましょう。

施策の体系

計画の基本目標を達成するため、人づくり、郷土づくり、産業づくりの三つの政策の柱ごとに、基本的な施策の体系を次図のとおり構成し各種施策の有機的な連携に配慮しつつ、総合的、計画的な施策展開を図ります。

〈基本目標〉

日本のパイオニア県



しあわせに生きる 富山の創造

活力にあふれ発展する富山、温かい心に満ちた美しいふるさと——ともに生きることの誇りと喜びを感じる富山

3つの日本一への挑戦

- 日本一の健康・スポーツ県
- 日本一の花と緑の県
- 日本一の科学・文化県

明日を拓く人づくり

健康で生きがいのある生活の確保、創造性に富み、心豊かな人の育成

魅力ある郷土づくり

快適な暮らし、心ふれあう美しい郷土の建設

活力ある産業づくり

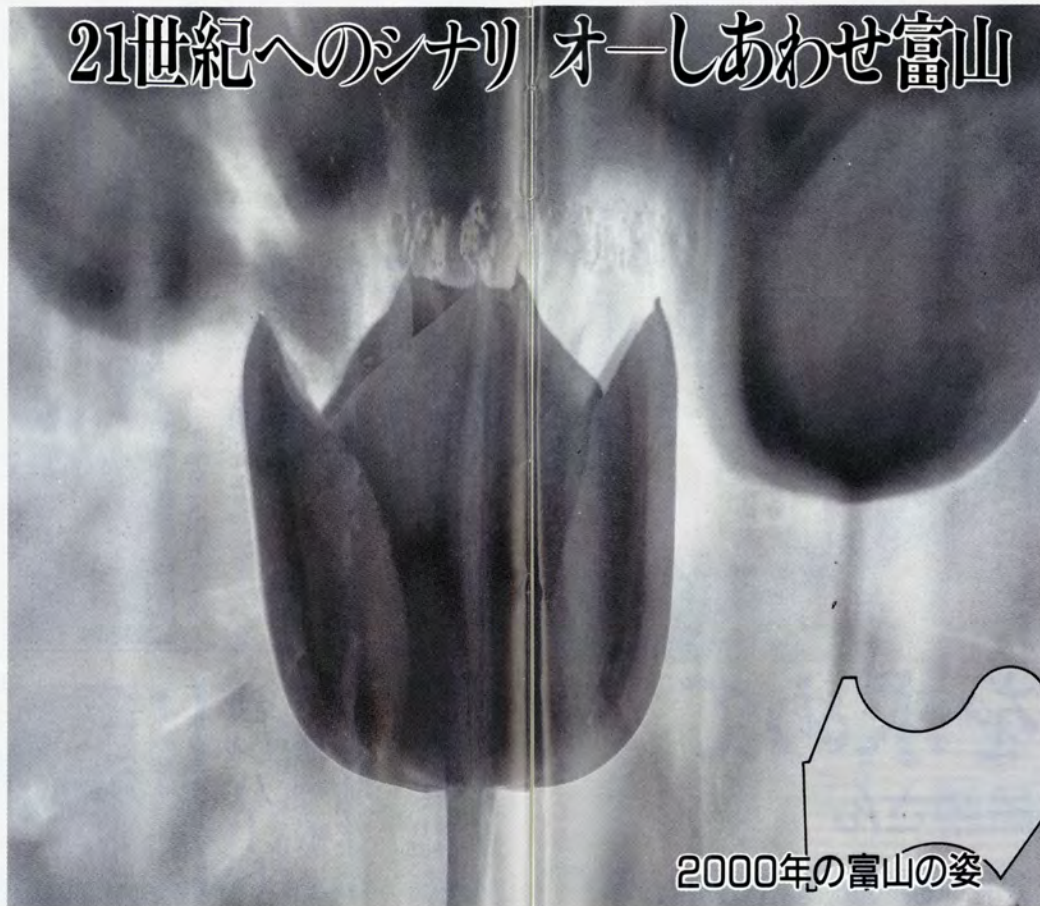
新しい時代をリードする力強い産業の形成



〈施策展開の重要視点〉

“心豊かな^{しあわせ}幸福社会富山、の実現
“世界に開かれ貢献する富山、の実現
“創造性あふれる富山、の実現

21世紀へのシナリオ — しあわせ富山



2000年の富山の姿

暮らしの見通し

- 労働時間や家事時間が短縮する一方、寿命の伸びにより、県民の生涯自由時間は着実に増加。
- 2000年の一人当たりの県民所得は、1988年のおよそ1.6倍程度。(実質ベース)
- 北陸新幹線の建設と、東海北陸自動車道や能越自動車道などの高速道路網の整備が進み、三大都市圏との時間距離が大幅に短縮。
- 道路網や公共交通機関の整備が進み、30分交通圏もさらに充実

人口の見通し

- 富山県の人口総数は、現在の112万人台から横ばいの状態で推移。
- 65才以上人口の総人口に占める比率は、2000年には19.6%(1990年15.0%)へ増加。
- 15才未満人口の比率は低下し、2000年には16.3%(1990年17.4%)に。

経済の見通し

- 2000年までの経済成長率は、年率4%程度。
- 第1次産業は就業者数、総生産額とも低下。第2次産業は富山県経済の牽引車として、また、第3次産業は経済のソフト化・サービス化に伴い順調に発展。

21世紀初頭の県民生活のイメージ

県民生活の舞台

心やすらぐ空間で暮らす

21世紀には、富山県の水資源など自然の豊かさは、ますます価値を發揮します。まちには、花と緑があふれ、安全で快適な生活空間で、私たちは、安心して働き、暮らしています。

街や建物は、高齢者や障害のある人も安心して動けるように設計され、冬でも快適な住宅や高齢者が自立して暮らせる住宅の建設も進んでいます。

充実した福祉と健康な毎日

介護を必要とする高齢者は、本人の希望で、質の高い福祉サービスが受けられるようになっていきます。一人暮らしの高齢者であっても自宅で自立して生活ができるよう、地域福祉が充実しています。

県民の健康への関心が高く、健康づくりを楽しんだり、健康状態について気軽に相談できる場や機会が、豊富に用意されています。

県民の行動

“働きバチ”からの脱却

魅力的な職場の増大や職業の選択肢の拡大に伴い、人生設計に応じた自らの働き方が柔軟に選択できるとともに、女性や高齢者にも多様な労働の機会が提供されます。

労働時間や通勤時間が軽減され、働きバチから脱却します。

長寿人生のすべての段階において、楽しみつつ学ぶ生涯学習の時代になります。

遊び心から生まれる新文化

レジャー、スポーツ、文化・芸術活動などの場が、豊富に準備されます。

生活を楽しむことの上手な人びとが増えることで、私たちは、「遊び心」をもった人たちという評価を得ます。

感性豊かな若者が集い、交流の刺激にあふれた若者ゾーンが生まれ、そこから富山の新しい文化が誕生します。



◎健康・福祉の増進

みんなでつくる、総合健康福祉社会

- 家庭・地域社会・公的部門の三者が一体となって、地域において健康、福祉、生きがい等のサービスが受けられる健康福祉コミュニティを整備します。
- ボランティアセンターの機能強化や交流の場の整備を図り、ボランティア活動を支援します。
- 医師、保健婦など健康・福祉の専門職の養成・確保に努めます。

健康づくりを多面的に推進

- 家庭、学校、職場、地域社会が一体となって、「自分の健康は、自分でまもりつくる」健康習慣づくりの定着を進めます。
- 楽しみながら、健康と運動について学べる「とやま健康村」を整備します。
- がん攻略県民プランを推進し、がんの克服を図ります。
- 地域医療体制を整備するとともに、県立中央病院など高度な医療機関の整備を進めます。

スポーツを楽しむ環境の整備

- スポーツ情報の提供や相談体制の充実と、各種スポーツイベントの開催など県民の参加機会の拡大を図ります。
- スポーツ指導者の養成や組織の育成強化を図るとともに、スポーツ・レクリエーション施設の整備を進めます。
- 二〇〇〇年国体に向けて、総合運動公園や県営プールなどを整備します。



◎生涯学習の推進

すべての県民に学ぶ喜びを

- 公民館、図書館等の社会教育施設の充実、放送講座や学校等の開放講座など学習機会の拡充を進めます。
- 県民カレッジや県立図書館を核として、市町村等との生涯学習情報ネットワークシステムを整備します。

可能性を伸ばす多様な教育

- 学級定員の改善に努めるとともに、各人の個性を生かし、創造力を引き出すような教育を充実します。
- 優れた教材の開発や、外国人英語教員の大幅な増員など、郷土理解教育、情報教育、福祉教育、国際理解教育を推進します。
- 県立大学の大学院の整備や私立大学の誘致など、高等教育機関の充実を図ります。



福祉サービスをいっそう充実を

- ホームヘルパーの大幅な増員や、老人デイサービスセンターの増設など、高齢者の在宅福祉サービスの充実を図ります。
- 特別養護老人ホーム、老人保健センターの大幅な増設や、ねたきり・痴呆防止対策の充実を進めます。
- リハビリの充実や心身障害者総合福祉センターの整備など、障害者福祉を推進します。
- 乳児保育、延長保育の拡大など保育対策の充実や、県内児童館の中核拠点となる「こどもみらい館」の建設など、児童福祉を推進します。

新時代をリードする科学県

- 科学技術プランに基づき、科学技術施策を総合的に推進します。
- 子供たちの科学教育や、高等教育機関の専門教育の充実を図ります。
- 社会科学から自然科学まで、幅広い分野の研究機関や教育機関を整備充実します。
- 科学に関する全国的・国際的会議を誘致するなど、研究交流の拡大を図ります。



◎若者と女性の力を社会に

若いハートをつかむ

- 若者問題懇話会を設置するなど、若者の意見を県政に反映させる機会を増やします。
- 夜遅くまで自由に語り合え、仲間づくりのできるよう、若者サロンの設置や

女性のやる気をバックアップ

- 男女平等教育の充実と、男女平等観を形成するための意識啓発を推進します。
- 審議会や公聴会等への女性の登用や参加を積極的に進めます。
- 女性の学習や交流の拠点として、とやま女性総合センターを整備します。
- 働きながら子供を生み育てやすい環境づくりや、女性のライフサイクルと生活環境に応じた健康づくり対策を推進します。



個性的な芸術が生まれる文化県

- 文化振興プランを策定し、文化の香りの高い県づくりを総合的に推進します。
- 街や建物の景観を整備するなど、ゆとりとうるおいのある文化的環境の整備を進めます。
- 伝統的文化遺産の保存、継承に努め、県民共通の財産として生かし発展させていきます。
- 県立総合博物館、デザイン美術館など芸術文化施設を整備します。
- 国民文化祭や世界吹奏楽フェスティバルの誘致などを進めます。



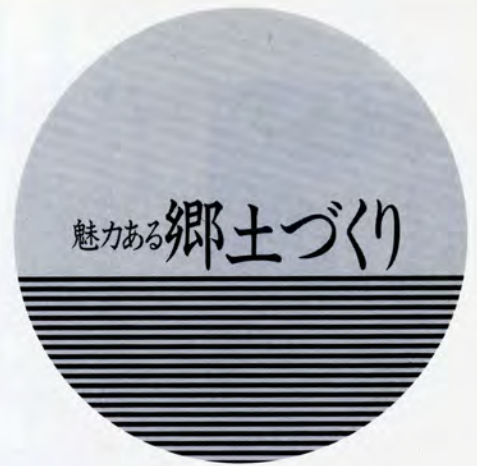
◎長寿・余暇社会への対応

豊かな長寿社会のためのしくみづくり

- 健康、福祉、生涯学習など社会全体のシステムを、人生八〇年型に向けての再構築を進めます。
- 高齢者が、安心して暮らせるよう、生活環境の整備や地域の中で支えあう体制づくりを進めます。
- 高齢者が能力を発揮できるよう、就業機会の拡大を図ります。
- 各種イベントの開催やとやま長寿センターを整備するなど、高齢者の生きがいづくりや世代間交流を進めます。

心の豊かさを実感できる余暇社会

- 余暇ビジョンを作成し、余暇ニーズの多様化・高度化に対応した余暇対策を進めます。
- 余暇に関する情報の提供、相談、啓発活動を行う余暇情報センターを開設します。
- 生涯学習の充実、各種イベントの拡大など、余暇活動機会の拡大を図ります。
- 多様な野外スポーツ等のプログラムの提供や、講座の開催などを行うアウトドアレクリエーションスクールを開設します。
- 山や海など、豊かな自然を活用したスポーツ・レクリエーション施設やリゾート地の整備を進めます。



◎快適な暮らしの実現

ふれあい豊かな 家庭とまち

- 明るく温かい家庭づくりを進め、多世代が調和して暮らす伝統を大切に、さらに発展させます。
- 自治会、婦人会、青年団などの地域社会組織や、趣味、ボランティアなどのグループを育成・支援します。
- 公民館、コミュニティセンターなど、身近な交流の場や生活環境施設の整備と活用を進めます。

安全で安心して 暮らせる社会づくり

- 生活科学文化センターを開設するなど、物価の安定や消費者保護対策の拡充を進めます。
- 省エネルギー対策、リサイクルシステムの確立を進めます。
- 医薬品・食品の安全性の確保を図ります。
- 通信衛星を利用した防災無線網の整備など、防災体制の充実を図ります。
- 県民の防犯意識を高め、犯罪を抑止する社会的な機能の向上を図ります。
- 県民総ぐるみでの交通安全運動や、交通安全施設の整備を進めます。
- 歩行者、運転者としての高齢者の交通安全対策を総合的に推進します。

恵み豊かな環境を 守り育てる

- 環境汚染の未然防止と、快適な環境の維持に努めます。
- とやま環境保全財団を設立し、県民総ぐるみの環境保全活動を積極的に推進します。
- 地球規模の環境保全への対応や、廃棄物の減量化と適正な処理を推進します。
- 風土になじみ、良質でゆとりある住宅と住環境の整備を進めます。



◎魅力ある地域づくり

「全県一都市社会」の 実現

- 県内どこに住んでいても、快適で便利な生活が営める「全県一都市社会」を実現し、均衡のとれた県土の発展を図ります。
- 特色ある地域づくりやイベントの開催を支援し、個性豊かな地域づくりを進めます。
- 土地取引制度の適正な運用などにより、土地の投機的な取引や地価高騰の防止に努めます。

「ふるさとやまのびのび」 ある美しい県土づくり

- 全県域公園化構想を推進し、うるおいのある美しい環境づくりを進めます。
- 各種公園の体系的な整備や、沿道、水辺、街並みなどの良好な景観づくりを進めます。
- 新しいグリーンプランに基づき、県民総ぐるみでの花と緑の県づくりを推進します。
- 地域緑化モデル地区の重点的な緑化を推進するとともに、全国都市緑化フェアを開催します。
- 市街地の緑化を積極的に進めるとともに、中央植物園や専門植物園の体系的な整備を推進します。



魅力的な まちづくり・むらづくり

- 新たな都市拠点として、富山駅北地区において、とやま都市MIRRAI計画を推進します。
- 都市公園の体系的な整備やライトアップなど、魅力の向上に努めます。
- 農村での下水道、道路、用排水路、農村公園など、生活環境施設の整備や、農業、地場産業の振興を図ります。
- 山村での、道路、上下水道、集会施設など、生活環境施設の整備や、医療の充実と福祉施設の整備を進めます。

安全・迅速・便利な 交通体系の整備

- 北陸新幹線の建設を促進するとともに駅周辺の整備を進めます。
- 東海北陸自動車道や能越自動車道の全線開通をめざして整備を進めます。
- 県民の日常生活を支える道路網を整備し、十分交通圏の充実を図ります。
- 大阪や札幌などへの新たな国内線ルートの開設や、コミュニティ航空の拡充を進めます。
- 伏木・富山港の整備を推進します。

◎県土の保全と活用

恵まれた「水」と「雪」の 活用

- 雪に強いまちづくりを進めるとともに、雪に親しむイベントの開催など、雪対策を総合的に推進します。
- 水資源の確保・かん養と、水の多面的な活用や地下水の適正利用を進めます。
- カナルパークや身近な公園での水辺の整備を進めます。
- 河川を環境教育の場として活用するため、水環境の学習施設等の整備を進めます。



富山湾と沿岸域の 多面的な利用

- 無限の可能性をもつ富山湾の総合的な開発利用を進めます。
 - 深層水を活用した漁業資源の増・養殖技術の研究に取り組みます。
 - 公共マリナーや海浜公園など、海洋レクリエーション施設を整備します。
 - 帆船海王丸を核とした日本海ミュージアム構想を推進します。
- ### 安全で快適な 県土の形成
- 下水道普及率を平成二十二年度までに、おおむね七十％に高めます。
 - 優れた自然を保護するとともに、自然公園など自然に親しめる場の整備を推進します。
 - 山地、河川、海岸の保全を推進し、災害のない安全で快適な県土づくりを進めます。

情報化社会をリード する基盤づくり

- CATV（有線テレビ）の開局への支援や、テレビ放送の多チャンネル化を進めます。
- 情報通信網の整備や展望台を備えた多目的タワーの建設を進めます。
- 学校における情報教育を充実するとともに、県民がパソコン等に親しめるよう、情報工房を整備します。
- 県民生活や産業活動を支援する情報システムの整備を進めます。



◎国際化時代への対応

国際的な視野を 育む

- 国際理解教育の充実や帰国子女の教育体制の整備を図ります。

国際化に対応した まちづくり

- 中学・高校での英語教育や各種外国語講座の充実を図ります。
- ささまざまな国際交流活動を促進し、県民が外国人とふれあう機会の拡大を図ります。
- 外国語刊行物を整備し、広く海外の人びとに富山県の情報を提供します。
- 国際芸術文化村構想の推進など、特色ある国際交流拠点の整備を進めます。
- とやま国際センターの機能を強化し、国際情報の収集・分析・提供機能を充実します。
- 外国語による相談窓口を拡充し、外国人にもやさしいまちづくりを進めます。
- もっと、地域と地域、人と人の交流を。
- 中国・遼寧省、ブラジル・サンパウロ州のほか、米国の州をはじめとする新たな友好提携を推進します。
- 対岸諸国をはじめとする近隣諸国との交流を進め、環日本海交流の拠点づくりをめざします。
- 国際的な会議、学会、スポーツ大会、演劇祭などの開催を推進します。



◎新世紀への産業展開

頭脳集積とやまの確立

- テクノポリスの建設、頭脳立地計画やサイエンスパーク構想の推進など、英知を集める産業基盤づくりを進めます。
- 人材確保対策本部を中心に内外から広く有能な人材の招致や、若者の受け入れを促進します。
- 農業バイオ研究施設、素材科学研究所など、公的試験研究機関の整備充実と民間研究所の立地を進めます。
- 高度情報通信基盤の整備を促進するとともに、県総合情報センターや各種産業データベースの整備充実を進めます。

新しい可能性へ果敢にチャレンジ

◎農林水産業の振興

- バイオなどの先端技術の開発利用や、加工・流通機能の高度化を図り、全国に誇れる県産品ブランドをつくりあげます。
- 農村、森林、海を生産の場としてだけでなく、いこいの場や都市との交流の場となるよう、整備を進めます。
- たくましく魅力ある農業の確立
- 中核農家の育成や、地域ぐるみの営農体制づくりを推進し、効率的な生産システムを確立します。
- 農地、農道などの生産基盤の整備や、農地利用の高度化を進めます。
- 米の食味向上対策や独自の新品種の育成に努め、うまい富山米のブランドを確立します。
- チューリップ、梨、野菜などの園芸特産品の産地化を進めます。
- 良質な飼料の自給体制の整備などにより、畜産のコスト低減と高品質生産を図ります。
- 農業経営規模の拡大や、新規就農希望者の参入を図るシステムの整備など、意欲ある担い手を育成します。

ハイテクとハイタッチの調和

- 地域企業が独自の技術開発に取り組み、技術開発支援体制の強化を図ります。



◎商業サービス産業の振興

楽しみと憩いの魅力ある商店街

- 商店街再開発に併せて、駐車場、道路、公園の整備を進めるなど、中小小売店と大規模店が共存できる商業集積の形成を図ります。
- 若手後継者塾の開設や先進企業への研修派遣など、地域商業の発展を担う人材の育成を進めます。

- デザイン振興の拠点となる総合デザインセンターを整備します。
- 新産業用地の開発や高速交通網、物流拠点などの企業立地環境の整備を図ります。
- 内発型企業を積極的に育成するとともに、技術先端企業などの優良企業の導入を図ります。
- 個性豊かな中小企業をサポート
- 中小企業の経営の近代化や技術・情報力の強化を進め、経営基盤の充実を図ります。
- 異種業交流・融合化による新技術・新製品開発の推進や、独立起業家の立ち上げを支援します。
- 地場産業の新たな展開を図るため、新製品の開発、販路の拡大、後継者の育成・確保を支援します。

◎工業の振興

働くみんなの意欲を応援

◎雇用と勤労者福祉

- 産業構造の転換や就業スタイルの多様化に対応した、総合的な雇用対策を進めます。

多様な境界を越え、産業のネットワークを

- 健康・医療・スポーツ産業群など、新たな文化・産業ネットワークの形成を進めます。
- 国際伝統医学センターの整備など、くすりの富山の特性を生かし、国際伝統医薬の基地づくりを進めます。
- 他県との間での観光、技術開発等の共同プロジェクトの推進など、広域的な経済交流を進めます。
- ソ連・中国など対岸諸国をはじめ、世界各国との貿易や資本・技術交流を進めます。
- 空港・港湾の機能の充実や海外駐在員の設置など、国際経済交流のための基盤を整備します。

活力ある林業の展開

- 国産材時代に向けて、林業生産基盤の整備や林業機械の導入など、生産性の高い林業を振興します。
- 県産材供給体制の整備や付加価値の高い製品開発など、木材産業の振興と需要の拡大を図ります。
- 資源をはぐくむ水産業の育成
- 健全な稚魚の放流や漁場の整備開発など、つくり、育て、管理する漁業を育成します。
- 漁港などの生産基盤の整備を進めます。



高度なニーズに応えるサービス業の育成

- 情報サービス業や福祉サービス業が育つよう、起業化への支援や、情報収集提供機能の整備を図ります。
- 情報、文化などの都市機能や交通体系を整備するなど、サービス業発展のための環境づくりを進めます。
- 優れた観光資源を生かし、通年型・滞在型の大型観光地やリゾート地づくりに取り組みます。
- 県内の観光地間や近隣県の観光地を結ぶ新しい観光ルートの設定と、都市観光を推進します。
- 県民一人ひとりが観光客を温かく迎える、もてなし環境づくりを進めます。
- 「第一回ジャパンエキスポ富山92」を開催するなど、話題性のあるイベントを開催します。
- 富山情報館の設置や特色ある交流拠点づくりを進めるとともに、イメージアップ戦略を積極的に展開します。

人が集い、交流する、情報発信県

ゆとりある勤労者生活の実現

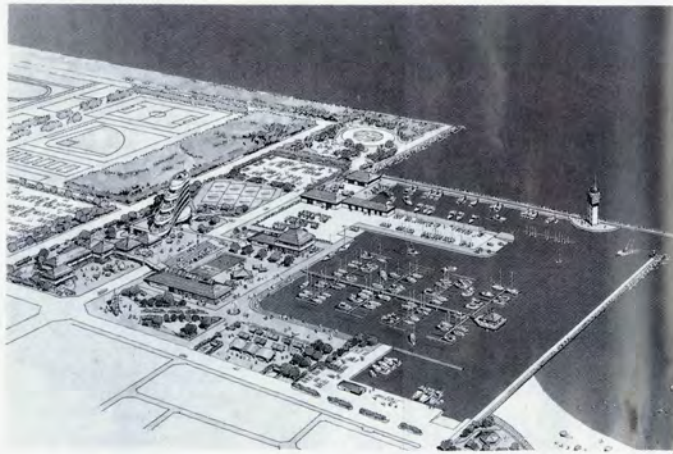
- 労働時間短縮のキャンペーンを展開し、年間総労働時間の一八〇〇時間への短縮をめざします。
- 勤労者福祉施設の整備や働く人の余暇活動の促進に努め、ゆとりある勤労者生活をバックアップします。



「しあわせ富山」をめざして 長期的な視点から15のテーマに取り組みます。

2. **長寿社会における人づくり**
高齢者の能力の発揮と
福祉を支える人材の育成
3. **生涯学習社会**
自ら学び、
生きがいを実感できる
生涯学習社会
4. **芸術文化の振興**
芸術を愛する県民と
芸術家が集うユートピア
の形成
5. **若者21世紀事業**
若者を引きつけ、
楽しみふれあう環境づくり
6. **女性が飛躍する社会**
女性の可能性が開化し、
女性に快適な社会づくり

8. **富山湾の総合開発利用**
無限の可能性を秘める
富山湾や沿岸地域の
総合的な開発利用
9. **花と緑の県土づくり**
花と緑や自然が息づく
美しい生活の舞台づくり
10. **水と雪の活用**
豊富な水の活用と
快適な雪環境の創造



11. **総合交通体系の整備**
豊かな生活と産業を支える
高度な総合交通体系の確立
12. **環日本海経済圏・文化圏の
創造と交通拠点づくり**
環日本海交流拠点
13. **ハイテク・ハイタッチ型産業の振興**
産業のハイテク(高度技術)化、
ハイタッチ(高感度化)の促進
14. **人材確保対策の推進**
明日への原動力となる
優れた人材と若者の確保
15. **イメージアップ**
魅力的な富山イメージの
創出と富山情報の発信

マンガで紹介
新富山県民総合計画を



新たな飛躍をめざす
長期構想

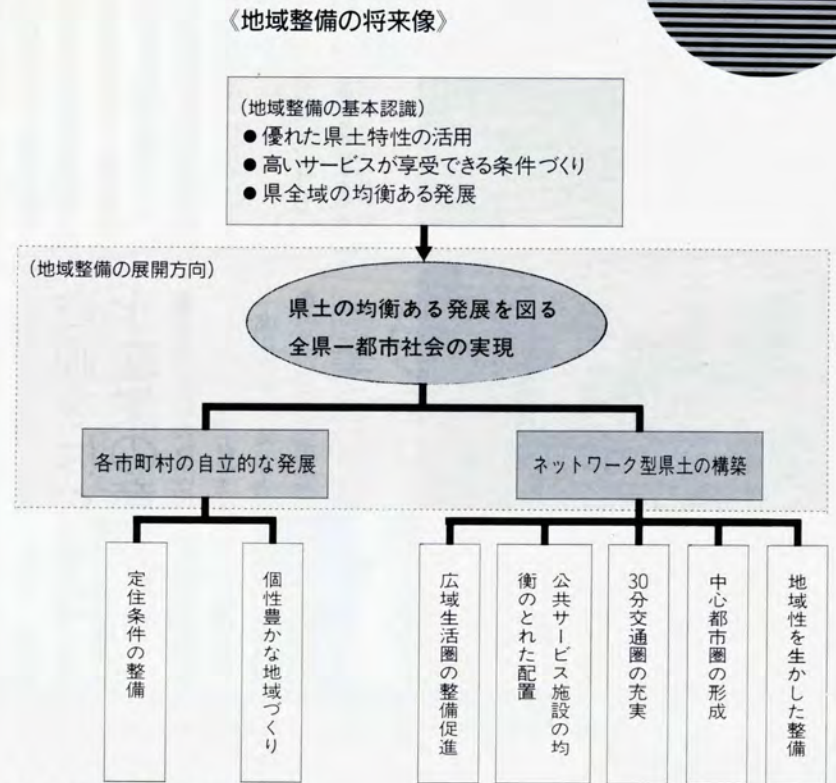
1. **国際的健康・医療基地づくり**
世界の伝統医学と
健康関連先端科学技術の
拠点形成

7. **立山地域の整備**
自然と調和した、
国際的な観光・交流空間
の形成

11. **総合交通体系の整備**
豊かな生活と産業を支える
高度な総合交通体系の確立

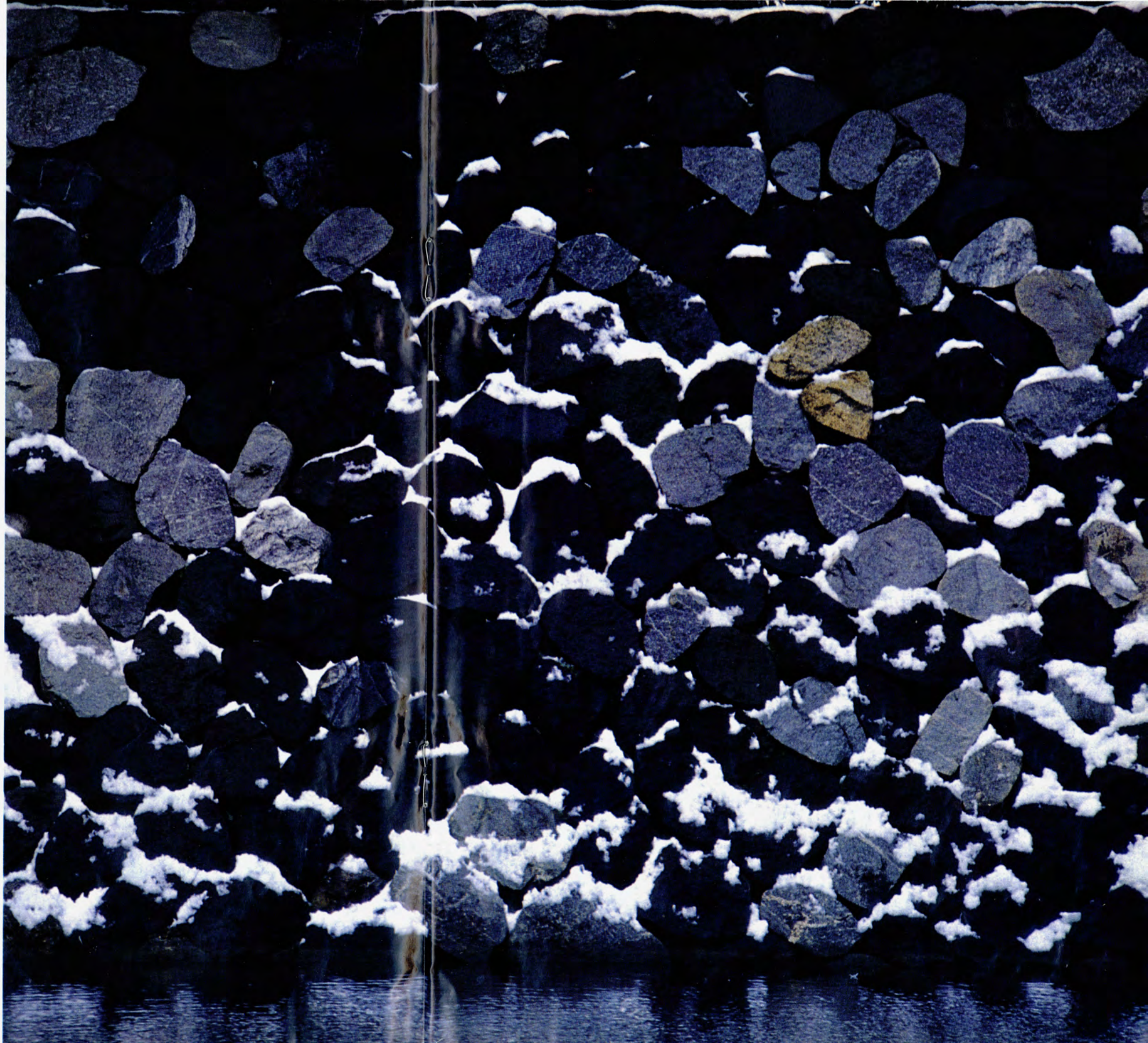
地域別的发展方向

1. 地域整備の基本方向



2. 広域圏別振興方向





日射しがやわらかくなり

古城の雪化粧も

色あせるころ

モノクロームの街が

色づきはじめる



PTN UP TOYAMA



21世紀を演出する創造空間

高岡テクノドームオープン



二月五日、高岡市二塚に富山県産業創造センター「高岡テクノドーム」がオープンしました。同センターは、県や高岡市、商工団体が一体となって建設を進めていたもので、富山県産業の研究開発基地、情報交流の拠点として大きな期待が寄せられています。

この日、大展示場で行われた竣工式典には、関係者約五百人が出席。中沖知事が「技術、頭脳立県への貢献を期待します」とあいさつ。続いて、感謝状の贈呈や祝辞が述べられました。

当施設は、インキュベータと呼ばれる研究開発型企業の育成支援施設を備えた展示ホールです。メインの大展示場は三千五十平方メートルで、大規模展示も可能な多目的スペースになっています。

また、開館を記念して二月九日から三日間「高岡産業フェスティバル'91」と「果織維フェア」が開催され、約五万人の来場者でにぎわいました。



雪と光が織りなすハーモニー

スノーアートとやま'91点灯式



▲滝沢卓さん達のシンセサイザー演奏も

「雪を活かした公園づくり」の一環として、今年も「スノーアートとやま'91」の点灯式が、一月十七日、県庁前公園で行われました。横沢県出納長、そしてこのスノーアートとやまの企画実行委員長である富山国際大学学長の佐々学氏のあいさつの後、一せいに点灯。点灯の瞬間、公園内に設置された色とりどりのオブジェが照らし出され、噴水が夜空に向かって勢いよく上がりました。

今年は特に、「雪の動物園」と題して、県内の幼稚園や保育園のチビッ子たちが描いたライオンやペンギンなどの大きなパネルも設置され、公園全体がちょっとしたアートスペースとなりました。

当日は雨が降るあいにくの天気となりましたが、園児たちによるミニコンサートや、滝沢卓さんによるシンセサイザーの演奏も行われ、訪れた人たちは光と音が創り出す幻想的な空間に、しばし酔いしれていました。

花と緑の中での生活

リポーター：大屋美由貴(ミス・チューリップ)

花は生活に潤いを与えてくれ、緑は人の心に安らぎを与えてくれます。
富山県は本州一自然の豊かな県です。季節の移り変わりを感じとることのできる花や緑が街にあふれています。
農林管理課では、彩り鮮やかな日本一の美しいふるさとづくりをめざして、様々な花と緑の運動を推進しています。

富山県で花と緑をいっばいに

農林管理課は、出迎えていただいた職員の皆さんの温かい笑顔と部屋に飾られた沢山のお花のせいか、県庁内の一角とは思えないほど和やかな雰囲気でした。さっそく平課長から、21世紀に向けての富山県の三大挑戦の一つである『日本一の花と緑の県』——これを推進しているのが農林管理課です。との話を聞きました。年々、国民の緑化に対する意識が高まってきているなか、富山県では「グリーンプラン」（県土緑花計画）を推進しているということです。この計画で私が関心を持ったのは、地域の花と緑づくりのための「花と緑の銀行」の設置と、多くの県民に花や緑の施設を見学してもらおう「フラワーグリーンバス」の運行です。しかし、残念なことにこの「グリーンプラン」を知らない県民が結構多いということです。平課長は「皆さんにわかりやすく、親しんでもらえるように、新しいグリーンプランの策定を行っていますが、どの



の策定を行っていますが、どの

ようにPRするかが今後の大きな課題とおっしゃっていました。また、花と緑の普及を図るには、大変な額の資金が必要なのだそうです。やはり私たち県民一人ひとりが花と緑の重要性に對しての認識を高め、自分達の回りを花と緑でいっぱいにすることが大切だと思います。

日本海側随一の植物公園

次に私は「花と緑の銀行」の本店がある富山県緑化センターを訪れました。「花と緑の銀行」について簡単に説明すると、知事を理事長として、この緑化センターを銀行本店、各市町村を支店（地方銀行）とし、さらに小学校区毎にグリーンキーパー（花と緑の指導員）を配置し、各家庭や緑花グループなどを指導するという仕組みになっています。ここでは、フラワーグリーンバス花壇コンクール、種苗の配布、講演会等本場に幅広い活動が行われています。皆さんは県庁前公園の花時計が年間五回も模様かえするのを知っていましたか。デ



▲花と緑の銀行

ザインを一般から公募し、選ぶものも銀行の仕事なのです。また、緑化センターは21世紀に向けて計画がすすめら



▲県緑化センターにて



▲植物公園完成予想図
園には、

温室・冷室が設けられ世界各国の植物と日本海側の植物を収集。これが完成すれば日本海側最大の植物園になるのだそうです。

暮らしに役立つ森林

最後に私は、立山町にある林業試験場に足を運びました。そこには樹齢何十年もの木々が立ち並び、ちよつとエキゾチックな雰囲気が漂っていました。その林の中にペンション風の真新しい建物があり、いろいろな研究や実験が行われていました。主な研究として、積雪深、雪圧害によるスギの幹折れ、根元曲りの原因究明や防止対策、家具材としての利用が多い広葉樹林の育成、またスギの間伐材を利用したバイオテクノロジーによる多種のきのこ栽培等が行われています。さらに、近年地球規模の問題と



▲林業試験場にて



▲平課長

なってきた酸性雨の実態調査も、ここで行われているのだそうです。

今回、農林管理課を訪ねたのは、産業界の発展に伴い、花と緑がより一層重要性を増してきているということです。県民一人ひとりが「グリーンプラン」に参加し、あふれるほどの花と緑を育成することを、今一度試みては

いかがでしょうか。



▲花と緑の冬のフェスティバル

ふるさと
みてある記

上市町

全国名水百選にも選ばれた「穴の谷の霊水」は、知る人ぞ知る上市町を代表する名物。「万病に効く」といわれるこの霊水を求めて、全国各地から人が集まる。

取材に行ったのは二月初め、雪の降る平日の午後にもかかわらず一時間ほどの間に十数人の人に出会った。皆さん近辺の人で、「こういう日は並ばなくても汲めるからいいね」との言葉に改めて人気の高さに驚いた。最近では寒の水がいいと、冬でも多くの方が水を汲



みに来るそうだ。駐車場で車を止め、山中の雪道を10分足らず歩くと、眼下に霊場が見えてくる。百八段の階段を降りたところここに訪れる人たちのための休憩・宿泊所がある。そこを経営す



▲「穴の谷の霊水」の休憩・宿泊所「弘真荘」

医者に見放された人が霊水を飲んで治ったとか、何年置いても腐らないとか、穴の谷の霊水にまつわる不思議な話は数多い。「この霊水を分析したところ、ゲルマニウムが含まれているので、それが健康にいいらしいね。ゲルマニウムを含む湧水はここを含めて世界に三ヶ所しかないらしいですよ」と塩原さん。「はじめのうちは上市駅から霊水の入ったポリタンクを持って電車に乗り、ガソリンと間違われて注意された人もいた」など楽しい話もたくさん。

観光協会や交通安全の仕事にも携わっている塩原さん。「これだけ多くの方が集まるのだから、これを活用して今まで以上に町のプラスになるようなことをやりたい」と意欲満々だ。

霊験あらたか「穴の谷の霊水」



▲弘真会の塩原真行さん

真という尼さんが修業に来て、亡くなる間際に「この水は霊験あらたかな水だから病に苦しむ人に飲ませたい」と言われ、売薬をしていた私の父がその話に感動して全国に広めたんですよ。

標高二、九八メートルの劔岳は、山男憧れの山。毎年多くの登山者が山頂を目指す。また、古くから立山参拝の街道筋として開けた上市町のシンボルの存在でもある。

この劔岳の自然を展示しているのが、北アルプス文化センター内の山岳博物館。館内に足を踏み入れると真先に早月尾根の模型展示が目に入り込む。ふもとから頂上まで急激にせり上がる劔の姿がよくわかる。また館内には、ライチョウ、カモシカ、クマ、タカなど二十体



▲劔岳早月尾根

▲全国名水百選にも選ばれている「穴の谷の霊水」

劔岳がそびえていた。博物館で様々な姿を見ただけに、一層雄々しく愛着を感じる「劔」であった。

日本海側初健康科学専門学校オープン

上市町提谷地内に、この四月富山健康科学専門学校が開校する。同校は、日本海側としては初めての健康づくりの指導者養成校。健康体力科学科が設けられ、そこでは体力と運動に関する知識と実技を中心に、栄養学や心の科学などを系統づけて学ぶ。県内で最初に生涯学習都市宣言を行い、健康づくりに積極的に取り組んでいる上市町



▲学生募集担当の黒田勲さん

4月に開校する「健康科学専門学校」で最初の生涯学習都市宣言を行う、健康づくりに積極的に取り組んでいる上市町

黒田さんは上市町出身で、学生時代にはボクシングのオリンピック候補になったほどのスポーツマン。「富山に帰ってスポーツ店で働いていたんですが、地元の人で誰か世話をしてほしいと言われて始めたんですよ。各学校へのPRという面では、いままでの人のつながりがとても役に立ちました。やっぱり昔からの積み重ねが大切ですね」

五月からは、スイミングスクールやエアロビクススクールなど一般にも公開される。「この学校ができることで、若い人が集まり町に活気が出たり、生涯学習の一環として学校の公開講座を利用してもらったり、町民の健康づくりに役立ててもらえればうれしいですね。ボクシングで言えば、チャンピオンでなくいつも挑戦者の気持ちでいたいと話す黒田さん。飛躍に向けて、試合開始のゴングは今鳴ったばかり。

上市町の概要

人口 23,681人(1月1日現在、県人口統計調査より)
面積 237.39km²

劔岳がそびえ立ち、その登山基地である馬場島には、キャンプ場等の施設が整った劔岳青少年旅行村が開かれている。穴の谷の霊水、大岩山日石寺、立山寺参道の榎並木など見所も多い。



▲劔岳のジオラマと山岳博物館松井館長
最後に劔岳Q&Aコーナーを経て館を出ると、真真正面に雄大な



▲山岳博物館

ような気分になれる。「自然だけでなく、歴史山岳信仰も含めたスライドを作る計画もあるんですよ」と館長。最後に劔岳Q&Aコーナーを経て館を出ると、真真正面に雄大な



▲山岳博物館松井館長

最後に劔岳Q&Aコーナーを経て館を出ると、真真正面に雄大な

3月は納税強調月間です。



税の仕組みや役割について、一層のご理解をお願いいたします。まだ納めていただいていない税金につきましては、公平な税の負担を実現するため、お早目に納めていただくようお願いいたします。県税について疑問やお困りのことがありましたら、お気軽に最寄りの県税事務所までご連絡ください。

県税の取扱い・相談は

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町一丁目 ☎(0764)41155
自動車税センター	富山市新庄町馬場三九六 ☎(0764)24922
高岡県税事務所	高岡市赤坂二丁目 ☎(0766)21941
魚津県税事務所	魚津市新宿一〇七 ☎(0765)24153
砺波県税事務所	砺波市幸町一七 ☎(0763)3152
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪一七 ☎(0764)31421

★国の税金は税務署へ
市町村の税金は市役所または町村役場へ

《県税の納税窓口は》

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所で納めてください。

●県税の所管区域図



みんなが安心して暮らすための 土地の基本理念

土地基本法では、みなさんに守ってもらいたい次の4つのことを「土地についての基本理念」と呼びます。

- 1 土地については公共の福祉が優先します。
 - 2 土地は適正に、計画的に利用されることが必要です。
 - 3 投機的な土地取引は行われてはならないものです。
 - 4 価値の増加に伴う利益は適切な負担で社会に還元されなければなりません。
- このような理念の上に、国土利用計画法があり、一定面積以上の土地取引は、事前に届出が必要となっています。

▼くわしくは、県民生活課または市町村の土地対策担当課へお問い合わせ下さい。

土地に関する無料相談会のご案内

国土庁と富山県では4月を「土地月間」として、土地に関する基本理念や土地公示制度などの普及を図ります。

この一環として、不動産鑑定士による土地価格などに関する無料相談会が開かれます。

日時 4月3日(水) 午前10～午後4時
場所 県民会館6階601号室

高岡市役所8階会議室

小規模企業 共済制度に 加入を

富山県と中小企業事業団は、平成二年度を「小規模企業共済制度」のモデル県運動の実施期間として設定し、特別加入促進運動を実施しています。

この共済制度は、小規模企業の経営安定と経営者の福祉の増進を目的とした「事業主の退職金制度」といえるものです。

詳しくは、最寄りの商工会・商工会議所・金融機関・各協同組合または県経営指導課までお問い合わせ下さい。



富山県漁業調整規則の 一部改正について

さけ・ますの県内河川へのそ上を促すため富山県漁業調整規則の一部が次のように改正され、平成三年四月一日から施行されます。

- (1) さけについては、人工ふ化放流事業の主要河川(小矢部川・庄川・神通川・常願寺川・早月川・黒部川・小川)の河口付近海域において、10月1日から12月31日までの間採捕を禁止する。
- (2) ますについては、人工ふ化放流事業河川(庄川・神通川・黒部川)の河口付近海域において、4月1日から6月30日までの間、採捕を禁止する。
- (3) 右の禁止期間に、禁止区域内で、さけ・ますを捕獲したときは、直ちに海中へ戻さなければなりません。

これらの定めは、漁業者だけでなく、一般遊漁者にも適用されますので、十分留意願います。詳細については、県庁水産漁港課にお問い合わせ下さい。

☎0764・31・4111(内線585)

県政の動き

平成3年1月11日～2月10日

- 1月11日 第1回富山県「おわら風の盆」協議会
- 1月14日 「成人の日」記念優良青年等表彰式
第6回富山県中核農業士の集い



- 1月16日 ガンカモ科鳥類生息調査
- 1月17日 スノーアートとやま'91点灯式
- 1月18日 富山県総合情報センター、総合教育センター起
工式



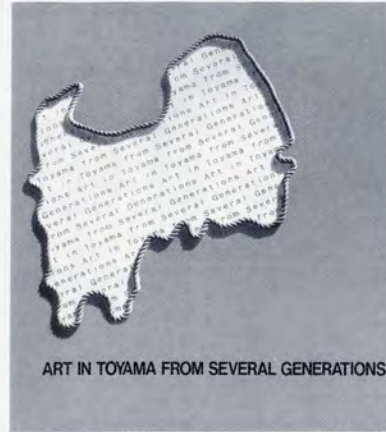
- 1月19日 第44回富山県民体育大会冬季大会スキー競技会
(～22日)
- 1月21日 ホールサムインうなづき落成式
- 1月27日 生活文化展(～30日)



- 1月31日 第1回ジャパンエキスポ富山'92入場券販売管
理本部設立調印式
- 2月2日 北陸新幹線整備問題検討会
省資源・省エネルギー運動富山県民大会
「北方領土の日」街頭キャンペーン



- 2月3日 冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォ
ニー」オープニング
- 2月4日 とやま21世紀水ビジョン策定委員会
- 2月5日 富山県産業創造センター竣工式
- 2月9日 花と緑の冬のフェスティバル(～11日)
高岡産業フェスティバル・第3回とやま県織維
フェア(～11日)



県民会館美術館

「世代にみる富山県の作家たち展」(40代)

県内出身の40代の作家の充実した新
作(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・
写真)を一堂に展示します。

●日時 3月8日(金)～3月28日(木)

●場所 県民会館美術館

●入館料 一般二百十円、小・中・高
生百円

詳しくは、県民会館文化事業課へ
☎0764・32・3111

平成3年 4月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
1 月	氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
6 土	富山駅前	10:00～16:00
7 日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
8 月	庄川町役場前	10:00～15:30
13 土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
14 日	富山市中央通り	10:00～16:00
19 金	小矢部市役所前	10:00～15:30
20 土	富山西武前	10:00～16:00
21 日	富山西武前	10:00～16:00
22 月	大沢野町役場前	10:00～15:30
27 土	高岡駅前	10:00～15:30
28 日	高岡駅前	10:00～15:30
29 月	砺波市チューリップフェア会場	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除)、献血を受け付けています。

団員募集

明日を拓く青年の翼

第21回 富山県青年海外派遣

- 派遣国 ソ連・スウェーデン
- 派遣期間 10月1日(火)～13日(日)
の13日間(予定)
- 募集人員及び資格
(一般部門) 約45名(うち身体障害者
3名程度)
- (農業部門) 約15名(うち農業高校生
等3名程度)
- 団員負担金 約23万円
- 募集期間 3月1日(金)から3月30
日(土)まで
- 応募先 市町村青少年対策主管課
※詳しくは、市町村青少年対策主管課
又は県婦人青少年課へ



第11回 富山県婦人海外派遣

豊かな郷土を拓く婦人の翼

- 派遣国 ソ連・スウェーデン
- 派遣時期 10月1日(火)～13日(日)
の13日間(予定)
- 募集人員及び資格
約30名(ただし、割当人員のない市
町村もあります)
- 30歳以上55歳未満または満55歳以上
60歳未満の者でその区域活動が著し
く顕著な方
- 団員負担金 約23万円
- 募集期間 3月1日(金)から3月30
日(土)までの間で各市町
村長が定める期間
- 応募先 各市町村婦人対策主管課
※詳しくは市町村婦人対策主管課又は
県婦人青少年課へ



総務庁青年海外派遣

- 〔青年海外派遣〕
- 派遣先 オセアニア、中米、南米
- 派遣期間 9～10月までの3週間
- 応募年齢 20～29歳

〔東南アジア青年の船〕

- 派遣先 アセアン諸国
- 派遣期間 9～11月までの60日間
- 応募年齢 18～30歳

〔世界青年の船〕

- 派遣先 南西アジア、中近東、ア
フリカ
- 派遣期間 平成4年1～3月までの
70日間
- 応募年齢 20～29歳
- 応募期間 3月26日(火)～4月16日(火)
詳しくは県婦人青少年課へ
☎0764・31・4111
(内線763)

卒業期の 少年非行と 家出の防止



例年3月から4月にかけては、卒業や春休みの開放感から犯罪を犯したり、進学、就職等に伴う環境の変化や心理的動揺などにより家出をする少年が多くなります。特に少年の家出は、家出中に非行に走ったり、犯罪の被害を受けるなど非常に危険です。

家庭では、暖かい思いやりのある態度で子供と接し、子供の持ち物や言葉づかい、行動等に不審なことがあれば直ちに適切な指導や助言をしましょう。また、地域のすべての人が一丸となって非行に陥りそうな少年を見かけたときは、ためらわずに「ひと声」かけて非行を未然に防止しましょう。

小年の非行関係の相談や連絡は、所轄の警察署の防犯係やヤングテレホンコーナーを利用して下さい。

◎富山地区 0764・415057
◎高岡地区 0766・244157

県政(語)生(証)人

富山県庁 | 昭和10年 設計・大熊喜邦



解説／世一 覚暁
（工学博士金沢工業大学教授）
写真／風間耕司
（日本写真家協会会員）



大熊喜邦は明治四十年妻木頼黄が支配していた大蔵省臨時建築部へ入り、大正五年に妻木が没した後、妻木が執念を燃やした国会議事堂の建築を担当し、その実現に一生を賭けた。国会議事堂の競技設計は大正八年二月に行われ、これに基づく大蔵省臨時議院建築局の設計が出来たのは大正九年、同年に起工され、昭和十一年に十六年の歳月をかけて国会議事堂は竣工した。この国会議事堂の計画はそれまで試みられてきた庁舎建築の集大成であり、以後その計画手法は地方自治体庁舎計画のモデルとなったのである。

従って、大熊自身が設計したこの県庁庁舎も国会議事堂を祖形とする庁舎建築の標式的な平面を持っている。外観は、一階を様式的伝統に従って石貼とするが、二階以上は、明るいクリーム色のスクラッチ・タイルを貼ったプレーンな壁面に、縦長の短形窓を二つ組にして並べるモダンなデザインである。一階右左に配する大きなアーチの出入口が殆ど唯一の様式的デザインである。明快で即物的な抑制のきいたデザインを好んだ大熊らしい平明で手堅い構成である。中央部を強調し、特に玄関を二階に配して急勾配の高い階段をもつてアプローチさせる手法は、古典的でやや権威主義的に感じられるが、これは時代的な限界というべきであろう。

表2 エッセイ／武井 勲
P1 ひと／青木昌勝
P2 特集／新富山県民総合計画
P12 PIN UP TOYAMA
撮影／松浦義一
P14 クローズアップ
①スノーアートとやま'91
②高岡テクノドームオープン
P16 県庁探訪／農林管理課
P18 ふるさとみてある記／上市町
P20 県からのお知らせ



●表紙撮影／滝川邦彦（日本写真家協会会員）
「花と緑の冬のフェスティバル」が二月九日から三日間、富山市の県民会館で開催されました。会場には様々な花が展示されましたが、中でも直径一メートル、重さ八キロの世界最大の花ラフレシアに、訪れた人たちは目を奪われていました。

県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉
☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764) 31-4111内759
相談110番
家庭問題・悪質商法・寛
せい剤など、どんな相談
にも応じます。
☎(0764)42-0110
シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、
悩みごとに富山県高齢者
総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

みなさんの
相談窓口

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV テレビ広報
●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45
「志の輔・陽子のふるさとトーク」
北日本放送 毎週日曜日AM9:30~10:00
「こんにちは富山県です」
3/3 春の美術館を訪ねて
3/10 新しい特産品づくり
3/17 これからの林業
3/24 変わる商業環境
3/31 21世紀に向けてスタート
●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

RADIO ラジオ広報
●FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をク
リアなサウンドでおとどけしま
す。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

N.P 新聞広報 NEWS PAPER
●北日本、富山、読売、北陸中日、
朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

◆できたばかりの高岡テクノドーム
に行ってみりました。産業界を
象徴するようなモダンな建物で、た
だただ驚くことばかりでした。上か
ら写真を撮るときにご協力いただい
た守衛さん、ドームオアリアがとうご
ざいました。(T)

♥街頭キャンペーンなるものに初め
て参加しました。同僚のUさんの精
力的な署名集めを横目で見ながら、
全然集まらない署名にあせりのよう
なものを感じ始め、ついつい無意識
のうちに道行く人の服をひっぱって
しまいました。「こりやまずい」と思
いましたが、「署名願います」と笑顔
で言うと「大変ですね」とニコリ笑
って署名をしてくださりました。と
ても寒い日でしたが、優しい笑顔で
心がポカポカ暖まりました。(M)

◆久しぶりに穴の谷の霊場へ行っ
てきた。いつもならポリタンクを持っ
ていくところだが、今回はカメラだ
け。身軽なのはいいが、水の入った
重いポリタンクを持って苦しまない
と何となく御利益が薄いような気が
する。

同様に苦しい思いをして書いた文
章は何となく自分では神々しいよう
な気がする。が、周りからは「意味
がわからん」「書き直したら」という
無情な声が……。 (M)



まず消そう 火への鈍感・無感心

春の火災予防運動

火の用心7つのポイント

3月20日から26日までの1週間、
「まず消そう火への鈍感無感心」をスローガンに、
春の火災予防運動を実施します。

県内の各消防署では、消防団や防火クラブと協力しての
防火パレード・工場や病院での消防訓練、
デパートやガソリンスタンドの査察、
一人暮らしのお年寄りへの防火訪問指導など
多彩な行事を行います。

また、県でもヘリコプターを使って防火を呼びかけます。

富山県は全国的に見て、火災の非常に少ない県ですが、
一人ひとりのちょっとした不注意から火災は起こります。

“火の用心7つのポイント”を守り、
火災のない富山県を創りましょう。

- ① 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ② 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- ③ 風の強いときは、たき火をしない。
- ④ 天ぶらを揚げるときは、その場をはなれない。
- ⑤ 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ⑥ ふろの空だきをしない。
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない。